

年間行事予定

- 1月 2日(土) 新年法要 午前10時~10時半
午後12時~12時半
- 3月 23日(月) 春季彼岸会法要 時間未定
(春季彼岸会期間 3月18日(木)~24日(水))
- 5月 2日(日) 降誕会・永代経法要
(ニコニコ法話会を兼ねております)
午後1時受付開始(午後1時半~2時半終了)
- 8月 15日(日) お盆法要 時間未定
- 8月 16日(月) お盆法要 時間未定
- 8月 20日(金) 法徳寺子ども会 午後1時~7時
- 9月 23日(木) 秋分の日 秋季彼岸会法要 時間未定
(秋季彼岸会期間 9月20日(月)~26日(日))
- 10月 1日(金) 念仏奉仕・ニコニコ法話会
午後1時半~3時
- 10月 9日(土) 報恩講準備・速夜法要 午後5時~6時
- 10月 10日(日) 報恩講日中法要 午前11時
- 11月 12日(金) 築地本願寺報恩講団体参拝 終日

新年法要のご案内

平成22年1月2日(土)

- 第1回 午前10時~10時半
- 第2回 お昼12時~12時半
(ご都合のよい回にお参りください)

毎年、お正月には、新年法要をお勤めしております。一年の始まりを、すがすがしい思いで「阿弥陀如来」の御前で、お参り致しましょう。浄土真宗の初詣は、お寺に参り、阿弥陀如来の救いに、感謝致します。読み上げ、読経、法話がございます。

法徳寺だより

第94号 発行
浄土真宗本願寺派
法徳寺
厚木市岡田5-4-12
TEL 046-228-3962
住職 伊東英俊
法話 伊東英幸
編集 伊東祐子

ニコニコ法話会のご案内

毎月2日 午後1時半~3時

参加者は、毎回30名程、新しく葬儀などで縁の出来た方が多く参加して下さっています。参加費もありません、分かりやすいお話です。



《法要に持参する物》
過去帳・位牌
法名読み上げ用紙
お念珠
お経の本(お持ちの方)

平成22年度 年回表

一周忌	平成二十一年往生
三回忌	平成二十年往生
七回忌	平成十六年往生
十三回忌	平成十年往生
十七回忌	平成六年往生
二十三回忌	昭和六十三年往生
二十五回忌	昭和六十一年往生
二十七回忌	昭和五十九年往生
三十三回忌	昭和五十三年往生
五十回忌	昭和三十六年往生

仏事のご依頼は、お早めにお願致します。日時、皆さんがお参りにご都合の良い日で宜しいと思っておりますが、土・日への、ご依頼が集中しておりますので、出来れば平日にお勤めいただくと有り難いです。また、年回にあたっていない年でも、ご命日にはお参り致しますので、お気軽にお申し込み下さい。ホームページから、Eメールでも、お申し込みが出来ます。

築地団体参拝

平成21年11月13日



東京の築地本願寺の報恩講へ、団体参拝いたしました。今年、報恩講の後、国立千鳥が淵戦没者墓苑、靖国神社にも、お参りしました。大変、勉強になった一日でした。また毎年、午後のコースを変えて行きますので、お楽しみに。

前進座特別公演



12月4日、青山劇場にて、「法然と親鸞」の演劇鑑賞に行ってきました。台詞の中で、「たとえ法然上人にだまされて、地獄に墮ちても、私は後悔いたしません。」という、親鸞様の法然様に対するお気持ちに感動しました。

来年度もどうぞ宜しく願います



お正月の初参りには、多数のご参詣をお待ちしております。

法徳寺住職 伊東英俊
副住職 伊東英幸

法徳寺伊勢原分院 毛利祥生
八千代聖苑主管 伊東知幸



今年も、白木位牌へのお炊き上げ式をお勤め致しました。



10月の下旬に、私の所属しております、地域の消防団の仲間と北海道に旅行に行きました。私たちは、旅行中、ラフティング、いわゆる、川の急流下りを体験しました。北海道の川は、大変綺麗でした、北海道の大地をゆったりと流れ、時に、急流がおとずれ、大変、ワクワクして楽しい時間でした。そのボートに乗りながら、昔先生からお聞きした言葉「川に沿って岸がある、私にそって本願がある」を思い出しました。北海道の川は、兩岸は、自然のまま、左右に蛇行しながら流れていきます。しかし、兩岸によって支えられておりますので、川は、氾濫することはありません。同じように、私たちの人生も右往左往しながらですが、本願(阿弥陀様の願い)がしっかりと支えてくださっているのです。そして、どのような川も、必ず、いつか、海にそそがれ、海水へと転じられます。親鸞聖人は、阿弥陀様の救いを海に譬えておられます。すべての者を、本願が支え、浄土へと導いてくださり、等しく、仏の悟りを開かせて頂けるのです。

表面に紹介しておりますが、11月に築地本願寺に団体参拝いたしました。そこで、お聞きした法話が大変素晴らしいものでした。あるお坊さんが「なんなんだぶつ なんなんだぶつ」と念仏を称えながら、タクシーに乗っていました。すると運転手さんが「私は、安全運転ですから大丈夫です！」と少し声を荒立てて言ったというのです。そこで、その僧侶の方は、ニコリとしながら、運転手さんに、私が今称えているお念仏は、交通安全の為の呪文ではありません、喜びの念仏ですと言ったそうです。今、私は、とてもいいことがあつて嬉しいのです、そんな時、私の口からは、自然に念仏が出てくるのです、これは、いつでも、どこでも、阿弥陀様と一緒にだから、仏様も喜んでくれています。念仏は、仏様そのものなのです、私が辛い時も嬉しい時も、仏様が一緒にいてくださり、共に、喜び、共に悲しみ励ましてくださるので、いいと思います、運転手さんは、「そうでしたか、念仏とはそういう意味でしたか、知りませんでした。大変、勉強になりました」とおっしゃったそうです。皆さまも嬉しいとき、悲しいとき、辛いとき、いつでもお念仏を称えてみてください。僧侶の方の「人間、最後は、お金が欲しいとは言わないのです。大切な方の名を呼ぶのです」という言葉が大変、印象的でした。私ももし、自分が、この世を卒業する時、大切な方に、「ありがとう」と呼ぶと思います。そして、お念仏を称えたいと思います。お念仏は、「阿弥陀様、お救い下さり、ありがとうございます」という意味なのです。

財布を落とした?

この前、私、財布を落としてしまつて、大変、慌てたことがあります。ところが、免許の再発行が終わつて、ヘトヘトになつて帰つてきたら、家のソファの間から見つかつたのです(泣)。私は、今まで、何度か、忘れ物をしたり、落し物をしたりして困つたことがあります。でも、人生の忘れ物だけはないと安心していきます。人生この先、何が起るかわかりませんが、一つだけ確かなことは、必ず、この人生を卒業しなければならぬということ。いくら、健康に気を付けていても、少し、先延ばしをするだけのことで、でも、それは、不幸なこととか嫌なこととは思わないでください、これは、自然なこと当たり前のことなのです。でも、どんなことは、あつても必ず、阿弥陀如来さまが

浄土へお救い下さいます。どんなに、地位や名譽やお金があつても、どんなに人生楽しく過ごしたとしても、必ず、終わりがくる、其の時に、いったい、私のいのちは、どうなるのかということを知らなければ、人生の忘れ物があるということ。今こうして、生きている間に、仏様の前に座らせていただき、必ず、浄土へ救うという阿弥陀様のみ教えを聞けたということは、大変、ありがたい縁なのです。それに、目を背け、逃げていたら、安心して卒業できません。私たちのいのちは、仏様の世界につながっているいのちなのです。

私は、仏教に出会い、「人生とは、苦である」と同時に、「幸せとは、生きることそのもの」だと学びました。私たちのいのちは、いつも願われてはいるのです。そして、今、生きているのは当たり前ではないことを忘れずに、たつた一度の人生を、人と比べるのではなく、自分なりに精一杯生きたら、それが、一番、幸せなのだと思ひます。最後に、平成21年秋に公共広告機構のCMで流れていた、

漫画家、赤塚不二夫さんのメッセージです。



これでいいのだ

それは、赤塚不二夫さんが漫画の中で幾度も繰り返してきた言葉。

現実はまだならない。うまくいかないことばかり。

- 毎日のほとんどは、これでよくないのだ、の連続だ。
- 自分を責めて、誰かを責めて、何かを責めて。
- そして、やっぱり自分を責めて。だけど、ためしてみる価値はある。
- これでいいのだ、という言葉のちからを。信じてみる価値はある。
- あなたが、もう、これ以上どうにもならないと感じているのなら、余計に。
- 胸を張る必要はないし、立派になんて、別にならなくたっていい。
- 「あなたは、あなたでいいのだ。」
- あなた自身がそう思えば、世界は案外、笑いかけてくれる。
- 人生は、うまくいかないことと、つらいことと、つまらないことと。
- そのあいだに、ゆかいなことや、楽しいことが、はさまるようになっているから。
- どうか、あなたの人生を大事に生きてほしい。

(文章参照 平成21年秋に、公共広告機構CMでの漫画家、赤塚不二夫さんのメッセージより)

(画像参照 フジオ・プロHPより)

法徳寺の合祀墓

法徳寺には、敷地内に永代合祀墓がございます。

ご納骨をご希望の方は、お気軽にご相談下さい。



平成22年度 護持金 3000円の納入のお願い

今年も何卒、ご協力お願い致します。ご納入頂いたお金は、『法徳寺だより』の発行・郵送だけでなく、お寺の護持発展、教化活動の為に使わせて頂いております。